

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】日本人非臨床サンプルにおける Childhood trauma Questionnaire の信頼性と妥当性及び児童期トラウマと心理的頑健性の関連の検討

【研究責任者】精神保健研究所 行動医学研究部 金吉晴

【本研究の目的及び意義】

児童期トラウマとは、17歳までに経験した心理的・身体的・感情的・性的虐待、またはネグレクトのことを言います。児童期トラウマは、生涯に渡って心に深刻な影響を及ぼす可能性が世界中で指摘されています。しかし、日本ではまだ児童期トラウマに関する研究があまり行われておらず、その影響や実態は十分に明らかになっていません。

そこで本研究では web 調査を行い、児童期トラウマ研究で世界的によく使われている調査票 (Childhood trauma questionnaire) が日本人でも使えるかや、一般的な日本人ではどの程度の人が児童期トラウマを経験しているか、児童期トラウマを抱えていることで日常的なストレス対処にどのような影響が出てしまっているかを調べます。児童期トラウマによるこころへの影響を明らかにすることで、どのようなケアや治療が有効であるかを考えることに役立てたいと思っています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2020年10月1日時点で30歳以上であり、精神疾患の診断を受けておらず、精神科・心理クリニック等に通院していない方。また精神的に健康な状態である方。

利用する試料・情報等

情報等:年齢、性別、児童期トラウマ経験、PTSD 症状、解離症状、抑うつ症状、ソーシャルサポート、日常的なストレス経験の程度

研究期間

2020年10月1日より2024年3月31日まで

【共同研究機関】

なし

2020年7月

作成年月日： 2020年 7月 22日 第1版

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
所属 精神保健研究所 行動医学研究部 氏名 中島実穂
電話番号 042-341-2711
e-mail mihonakajima※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)